

九州電力のタンカー専用突堤の新設をすべきでは。
町長：九電や船会社の要望があれば県につなぐ。



東 善一郎 議員

質問 港湾整備促進委員会は現在存続しているのか。

答弁 町長：知名町港湾整備促進委員会は、昭

和四十八年に設置されているが、平成十四年度までは毎年開催していたが、住吉港及び沖泊漁港の整備完了に伴い、現在は懸案事項がある場合に開催しています。

質問 知名漁港内に工事に使用した係留ピットを備えたコンクリート塊が傾いたまま、四十年近く放置されているが撤去できないか。

認知症老人対策について。

町長：家族との関係性の問題にも十分配慮し支援していく。



山崎賢治 議員

質問 認知症老人対策について。

町長：グループホ

ーム三ヶ所、小規模多機能型居宅介護事業所三ヶ所など、地域密着型サービス事業所の整備を進めてきた。郡内町村では一番多くの地域密着型サービス事業所を有していると思う。認知症の方の介護を行うことは、その家族にとつて相当な負担となっており、認知症の方と家族などとの関係性によつては、認知症の人に悪い影響を与える恐れがあ

答弁 町長：港湾利用上も特段の支障は無いが、今後の港内の工事の際に利用される可能性もあり、補修もしくは撤去すべきかどうかについては、利用者の声を聞くなどして判断したいとのことである。

質問 町道「シャール」線の舗装整備をすべきだが。

答弁 町長：平成二十五年次から舗装工事を年次的に実施して、交通の安全性・快適性の確保を行っていく。

る。この為、地域包括支援センター職員やケアマネージャーなどがアセスメントを行う際には認知症の方だけでなく、家族との関係性の問題にも十分焦点を当て、介護者への支援の視点も含めたサービス提供が行われるよう努めていく。

質問 生活保護行政について。

答弁 町長：本町においては、申請受付窓口と医療券の申請、発行などの事務、その他に、要保護

者を発見し、又は被保護者の生計その他の状況の変動を発見した場合には速やかに保護の実施機関である県沖永良部事務所総務福祉課にその旨を通報している。ケースワーカーである県の職員が生活保護法にのっとり、決定から実施までを行っているので不正な受給等はないと考えているが町民に疑念を抱かれることが無いよう県の担当と連携を図りながら事務に当たりたいと考えます。

質問 光ファイバー網の整備について。

答弁 町長：NTT西日本との当初の契約で、目標とする一〇八五件を平成二十四年度中には達成する見込み。今後は事業導入時に光ファイバー引き込みを行つてからサービスの提供を受けていない方への加入促進や現在、ADSLを利用されている方のフレッツ光への乗り換え促進を図っていく。また、光ファイバーを活用した事業所が医療機関一ヶ所となつている為、雇用創出の為にインターネットを利用したソフト業務を行う事業所の誘

致を進めていきたいと思う。

質問 大津勘長浜海岸・ビーチロックの砂対策について。

答弁 町長：長浜海岸に砂が打ち上げられる度に、重機等を使用して砂を海岸に戻すといった対応をとっており、何らかの対応が必要であると認識している。離岸堤や防波堤などの建設といった対応策が考えられるが、同海岸においてウミガメの上陸、産卵が確認されており、離岸堤などの海岸構造物の建設によるウミガメの上陸・産卵及びふ化幼体が海へ帰ることへ与える影響等も考慮する必要がある。また、大津勘のビーチロックとして県の天然記念物にも指定されており、文化財としての価値の維持や景観の保全といった観点も視野に入れて考慮する必要がある。長浜海岸については、多角的な視点から検討する必要があるの